

活動レポート

倫理委員会

文責：倫理委員会幹事長 佐々木裕之

平成 27 年度第 6 回、平成 28 年度第 1 回研究 WG 活動報告

はじめに

倫理委員会では、平成 28 年 2 月 8 日(月)に平成 27 年度第 6 回研究 WG(出席者 20 名)を(株)ドーコン会議室にて、平成 28 年 4 月 11 日(月)に平成 28 年度第 1 回研究 WG(出席者 20 名)を(株)中大実業会議室において開催しましたので、これらについて報告します。

1. 平成 27 年度第 6 回研究 WG

(1) 旭川高専共同授業(第 2、3 班)について

旭川高専で技術者倫理の第 2 回目の共同授業を平成 27 年 12 月 21 日(月)、第 3 回目の授業を平成 28 年 1 月 18 日(月)に実施しました。



1/18 の授業で学生が作成したマインドマップ

講義テーマは第 2 班が「科学技術の不確実性と意思決定」、第 3 班が「内部告発者の保護・救済」ですが、学生とのディスカッション事例として第 2 班は「セメント系固化材を用いた地盤改良に関する事例」、第 3 班は「廃棄物処理会社の社員の倫理」が用いられました。

第 2 回目の授業では、昨年度の内容より事例内容が専門すぎたのか、検討内容を整理してから「マインドマップ」作成までに時間を要する班が多かったようです。そのためなのか、第 3 回目の授業では

「絶対に内部告発をしない」という考え方が根底にある班や、偏った意見が多く出てしまう班がある一方、非常に現実的な意見を出す学生が多く、活発な議論がなされていました。



12 月 21 日に実施した旭川高専での授業

(2) 第 7 回技術者倫理フォーラムについて

基調講演は、旭川高専の岡田先生に技術者倫理教育の現状と課題について依頼しました。当委員会からは、昨年度話題になった杭打ちデータ改竄に関する内容で、富澤委員が講演することになりました。

(3) 創作事例研究 3「内部告発者の保護・救済」(担当：佐々木幹事長・山本委員)

前回 WG での議論に基づき、佐々木幹事長より本事例の最終的なとりまとめ結果の説明がありました。

議論では旭川高専での共同授業内容も交えて、以下のような意見が出されました。

- ・ファシリテーター役の技術士が議論を深めたり、偏った意見にならないよう全員に意見を述べさせ、場の雰囲気盛り上げることが重要と感じた。
- ・意見の取りまとめ方は、昨年度の学生と同様に優れていると感じた。マインドマップの他にもいろいろな手法を用いてとりまとめを行っていた。

(4) ミニ講演～ JABEE 技術者倫理教育を通じて～ (担当：冨澤委員)

当委員会の冨澤委員は、北海学園大学工学部の技術者倫理授業(3年次・必修)を平成26年度から担当しており、その授業内容や課題、感想について講演されました。以下、授業内容や感想です。

- ・倫理に興味を持ってもらう講義方法に苦労している。
- ・学生の理解度が分かりにくい場合がある。
- ・「倫理」は思考のみであってはならず、実践的であるべきである。
- ・技術者倫理に正解な思考は無く、共有が重要である。



北海学園大学での技術者倫理授業の様子

2. 平成28年度第1回研究WG

(1) 今年度の活動方針について

佐々木より、今年度の活動方針について説明を行いました。昨年度と同様に、事例研究「創作事例から学ぶ技術者倫理の実学」を参考にとりまとめるものです。この背景には、当委員会が旭川高専より技術者倫理教育の共同授業を依頼されたことを契機として、倫理委員会として教材を作成し、メンバー全員が講師として対応できることを念頭に置いたものです。今年度も3組(日下部幹事・斉藤委員、佐々木幹事長・川野委員・小澤委員、川浦委員・門脇委員)が各々自由に題材やテーマを設定したうえで、昨年度と同様にとりまとめます。なお、今年度は道東技術士委員会総会にて、技術者倫理に関する講演を行います。他の地方委員会においても、今後は積極的に講演を行いたいと考えています。

(2) 第7回技術者倫理フォーラムについて

講演1として、旭川高専の岡田教授が「Well-being ～倫理共育への期待～一より良く生きる～」と題して講演します。講演2は冨澤委員が「技術者の職務義務と積極的倫理～出る杭は打たれるか?～」と題して、発表を行います。なお、事例研究報告は山本委員が「内部告発者の保護・救済に関する倫理的課題～技術者倫理教育の教材試案として～」と題して発表することとなりました。

(3) 「内部告発者の保護・救済に関する倫理的課題」

(担当：佐々木幹事長・山本委員)

第7回技術者倫理フォーラムでの発表内容について、各委員に向けて説明を行いました。内容・構成は、1. 倫理委員会のこれまでの取り組み、2. 教材試案の作成、3. 各班の作成した内容、4. 旭川高専での講義、5. 教材例、6. まとめ、としました。

各委員からの意見は下記のとおりでした。

- ・資料前半の内部告発を中心にまとめた方が良い。
- ・昨年度の委員会は教材の作成を中心に活動してきたこと、旭川高専の学生からの意見を取りまとめる部分は残した方が良い。
- ・学生からの意見を取りまとめて、今後の教材の作成・とりまとめの方向性についてフィードバックする内容にしてはどうか、などです。



第1回研究WG 会議状況

おわりに

倫理委員会では会員を募集しております。倫理委員会のメンバーとの意見交換や交流を通じて、技術者倫理についてさらに深く考えてみませんか? 詳しくは当委員会HPをご確認ください。